



Mima RC Weekly Report

週報

国際ロータリー2670地区

例会場：森友

毎週火曜日19:00~20:00

出席報告

会員数	会場出席	ZOOM	欠席	メーキャップ	修正合計	出席率
33	18		15	0	18	54.5%

2025-2026年度 第18回 例会プログラム

開会点鐘 19時 四つのテスト／奉仕の理想

ゲスト ファム フーン ティン様（米山奨学生）藤原武志様（脇町 RC）

会長の時間／幹事報告／委員会報告／米山奨学生卓話／スマイルボックス発表

会長の時間



米山記念奨学生をお招きして卓話をしてもらいます。ご紹介します。「ファム フーン ティン君」ベトナムのご出身です。脇町ロータリークラブがお世話をしており、カウンセラーは藤原さんです。

私が思うところでは米山記念奨学会の意義は、人の縁を育み世界平和に貢献することではないでしょうか。奨学生を招き、お世話をし、母国へ帰ってから交流を続けて行く。国家ではなく、人同士の縁が大事にされ、人を思う気持ちを紡いで行く。情動に流されることなく、相手を思いやる寛容さと、理性を保つ責任感を身につけていければと思っています。

今日の卓話から、自分の成長につながる何が見つければ良いと思います。

ちなみに米山奨学生は今までに24,133人いてベトナムは4位で1,520人、1位は8,514人でぶっちぎりの中国です。

幹事報告

- ・到着週報：脇町 RC 鴨島 RC
- ・トレに「ロータリーの友」12月号を入れております、お持ち帰りください。
- ・2024-2025年度の国際ロータリー第2670地区 地区概況と2025-2026年度の青少年短期交換留学生の報告書を回覧させていただいています。
- ・前回案内の通り3名の新入会員候補の情報を回覧しましたが異議がないため、承認されました。12月より正式に会員となりますのでよろしくお願いします。
- ・辻会長が米山特別寄付をしていただきました。



委員会報告

矢野親睦担当

「12月11日淡路島の梅丸にフグを食べに行く親睦旅行を計画しています。多くの会員の参加をお願いします。」

卓話（米山奨学生）

氏名：ファム・フーン・ティン。通称はティン。

所属：脇町ロータリークラブの米山奨学生。四国大学生生活科学部人間生活科学科デザインコース4年生。

出身：ベトナム南部のビンドン省、メコン川下流域。

生年月日：2001年9月11日。2025年時点で24歳。

趣味・特技：絵を描くこと、音楽鑑賞、飲酒、アニメ鑑賞、藍染。特技はコミュニケーション。



発表テーマ：「きっかけ」

テーマ選定理由：過去に起こった良い出来事も良くない出来事も、すべてがあったからこそ今の自分があると考えているため。

発表の注意点：スライドにアニメーションを多用しているため、目が回る場合は注意してほしいとのこと。

故郷ベトナムについて

地理と文化：日本の南西に位置し、細長い国土のため海が近い。南部は年間を通して暑い。故郷は徳島県と似た田舎で、川が多く、日本の協力で建設された橋がある。家は一日中開けっ放しにするオープンな文化。

食文化：ジャックフルーツなど豊富な果物が安価で手に入る。客が来るとすぐに魚や鶏をさばいてご馳走を振る舞う「足りないよりも余る」というおもてなし文化がある。

日本との繋がり：近年、日本の企業協力により、かつて日本で走っていた中古車両がベトナムの電車として再利用されている。

日本留学の経緯と人生の変化

留学の本当の理由：アニメや漫画がきっかけと話しているが、本当は人生を変えるため。幼少期に両親が別れ、母親が病死。祖母と姉との補助金生活から自立したいと強く願い、母の遺産を学費に充てて来日した。

来日後の苦労：当初は日本語が話せず、ヤマト運輸の荷物運びや皿洗いなど複数のアルバイトを掛け持ちし、学業と両立するハードな生活を送った。

米山奨学生としての転機：2025年4月に米山奨学生となり経済的な心配から解放された。サーフィン体

験やボランティア活動など、普通の学生生活を送れるようになり、奨学生の仲間との出会いを通じて精神的にも豊かな人生に変わった。この発表がきっかけで内定も決まった。

日本でのデザイン研究と活動

絵を描くこと：子供の頃から好きで、写真にはない感情を表現できると感じ、友人との別れの際に似顔絵をプレゼントしてきた。これを仕事にしたいと考えるようになった。

言葉を超える絵（ピクトグラム）：日本語が話せず苦労した経験から、言葉がわからなくても理解できるピクトグラムに興味を持つ。国際交流クラブの活動で、ピクトグラムを用いた告知物を作成し、デザインの力を実感した。

仕事実績：四国大学の学内企業研究会ポスターや、海陽町のパン屋のお粥パッケージ、徳島の食をテーマにしたボードゲームのパッケージデザインなどを手掛けた。

藍染との出会い：大学で藍染を体験し、その魅力に気づく。絞り染めや蠟纈染めの技法を学び、ものづくりの考え方を身につけた。勝浦町の民宿の暖簾を制作したり、保育園児や外国人に藍染を教えたりする活動も行っている。NHK ワールド JAPAN の番組にも出演した。

将来の展望

助けられる側から助ける側になった経験を活かしたい。

藍染のアピールなど、自分の好きなことを通じて最高の人生を送り、その姿で他の人にモチベーションを与える「日本との架け橋」になりたい。



スマイルボックスの発表

藤原会員（脇町 RC）

辻会長「今年もお歳暮のギフトカタログができました。お持ち帰りください。」

次回例会

12月2日火曜日 19時00分～ 場所 森友

※出欠連絡は前日までに幹事までご連絡ください。